

SE構法 構造計算依頼シート【一般事項】				(1/3)
※意匠の内容を正確に構造計算に反映させる必要がありますので明確に記入して下さい。				Ver.2/13.10
必要添付図面	平面図・立面図・レベル確認シート		図面送付方法 ☐ E-mail ☐ Fax ☐ WISデータ	
NCN 設計担当_____行 FAX 東京本社:03-6872-5611 大阪支店:06-6344-0733				
登録施工店名	ご担当者		様	申込日 平成 年 月 日
フリガナ				
工事名称				
確認申請上の一般事項 (構造計算書に記載する必要がありますので、申請書類と同じ内容を記入して下さい)	建設地(地名地番):	都・府・県	市・区・郡	
	建物用途()	延床面積()㎡	建築面積()㎡	
	最高高さ()m	軒高さ()m		
一般事項>				
1. 建築基準法第6条の3による建築士の特例を使用しますか?ただし、法第6条4号建築物に限る。			☐ YES	☐ NO
2. 準耐火構造としますか? (建築物の防火の制限により決まります。)			☐ YES	☐ NO
3. フラット35による住宅ローンを利用されますか?			☐ YES	☐ NO
YESの場合、優良住宅取得支援制度を利用しますか? ⇒ (耐震等級2以上が必要です。)			☐ YES	☐ NO
4. 積雪量は何cmですか? (多雪地域ですか?) ※確認申請機関へ問い合わせをお願い致します。			()cm	☐ 多雪地域
5. 多雪地域の場合において雪下ろし低減を適用しますか?			☐ YES()cm	☐ NO
6. 風荷重を算定する建設地の地表面粗度区分はどれですか?			☐ I ☐ II ☐ III ☐ IV	
7. 地域条例等により地震力の低減・割増はありますか? ※確認申請機関へ問い合わせをお願い致します。			☐ YES()	☐ NO
8. 地域条例で注意することがありますか? ※確認申請機関へ問い合わせをお願い致します。			☐ YES()	☐ NO
9. 耐力壁に使用する構造用合板の厚みはいくつですか?			☐ 9mm	☐ 12mm
10. 構造性能等級はどのランクにしますか? ※耐雪等級の指定は、多雪地域のみとなります。 ※見積依頼時にご指示頂いていない場合、計算の結果により壁量が増える可能性があります。			耐震等級 (1・2・3) 耐風等級 (1・2) 耐雪等級 (1・2) 多雪地域のみ	
11. エレベーターを使用する場合、ご記入ください。 内寸法 (×)mm			メーカー・機種()	
垂木断面>				
1. 垂木を使用しますか?			☐ YES	☐ NO
2. 使用する場合は、代表的な仕様を選択又は記入して下さい。			樹 種	☐ 米松 ☐ 赤松 ☐ 米桐 ☐ 杉 ☐ スプルース ☐ その他()
			断 面	幅×成(×)
			垂 木 間 隔	()mm
			軒 の 出 寸 法	()mm
			ケラバの出寸法	()mm
屋根葺き材> 屋根葺き材の設計を依頼しますか?依頼する場合(有料)は、下記に記入して下さい。 ※3階建・混構造・500㎡を超える規模の建物に求められます。				
			☐ YES(有料)	☐ NO(記入不要)
1. 屋根葺き材の種類はどれですか?		葺き材の種類	☐ 瓦 ☐ スレート ☐ 金属系 ☐ その他()	
2. 屋根葺き材の仕様を記入してください。 ※NCNが行う屋根葺き材の検討は葺き材の下地との固定方法のみとなります。 屋根材自体の強度等が必要な場合は各メーカーにお問合せ下さい。		メーカ	()	
		品 番	()	
		屋根下地材	☐ 構造用合板(厚さ mm) ☐ その他(厚さ mm)	
3. 金属系の屋根葺き材の場合は下記の納まりをご記入下さい。 ※計算の結果により、固定方法・間隔を変更させて頂く場合があります。 ※計算の結果により、固定方法・間隔を変更させて頂く場合があります。			葺き材の仕様を選択して下さい	
			☐ 縦葺き (以下選択下さい) ☐ 瓦棒葺き ☐ 立ハゼ葺き ☐ その他()	
			☐ 横葺き はたらき巾(A)を記入して下さい。 ()mm	
			固定間隔(B)を記入して下さい。 ()mm	
			☐ NCNの設計に従う。	
			屋根の固定方法を記入して下さい。 ☐ ビス (φ= L=) ☐ 釘 (φ= L=) ☐ NCNの設計に従う。	

SE構法 構造計算依頼シート【荷重関係】

(2/3)

仕上げ荷重表＞

Ver.2/13.10

○ 各部の仕上げはどれですか？

下記の仕上げ内容の項目から該当する□にチェックを入れてください。(複数選択可)
 該当項目が無い場合はその他の場合として仕様内容を記入してください。

※当該シートに記入して頂いた仕様は設計図書等よりも優先されるものとして構造計算に反映します。

区分	略図	部位	仕上げ内容 (該当項目にチェックを付けてください)
屋根		屋根の仕上げ	☐ ①金属板 ☐ ②スレート板 ☐ ③瓦葺き(もり土無) ☐ ④軽量瓦 ☐ ④その他の場合()
		屋根の下地組	☐ ①タルキ野地板 ☐ ②DSパネル ☐ ③その他の場合()
2階・3階床		床の仕上げ	☐ ①フローリング15mm以下 ☐ ②畳敷き ☐ ③その他の場合()
		捨て張り	☐ ①なし ☐ ②石膏ボード12.5mmまたは合板12mm以下張り ☐ ③遮音マット8mm敷き ☐ ④その他の場合()
		床板	☐ ①床合板28mm
防水層		防水層	☐ ①FRP防水 ☐ ②シート防水 ☐ ③防水層+保護モルタル(厚み mm) ☐ ④その他の場合()
		使用する場所	☐ ①バルコニー、テラス ☐ ②陸屋根 ☐ ③その他の場合()
天井		天井の仕上げ	☐ ①石膏ボード12.5mm以下 (☐ 全階共通 ・ ☐ 1階 ☐ 2階 ☐ 3階) ☐ ②石膏ボード16mm以下 (☐ 全階共通 ・ ☐ 1階 ☐ 2階 ☐ 3階) ☐ ③その他の場合()
壁		外壁の仕上げ	☐ ①金属サイディング ☐ ②窯業サイディング16mm以下 ☐ ③窯業サイディング16mm超 ☐ ④セメントボード12.5mm以下 ☐ ⑤ALC板37mm以下 ☐ ⑥軽量モルタル20mm以下 <層間変形角1/200として構造計算を行います> ☐ ⑦軽量モルタル・SE構法仕様 <層間変形角1/150として構造計算を行います> (モルタル厚さ15mm以上、タッカー@150mm以下、通気工法推奨・ラスの種類の指定は無し) ☐ ⑧その他の場合()
		内壁の仕上げ	☐ ①石膏ボード12.5mm以下 ☐ ②石膏ボード16mm以下 ☐ ③その他の場合()
1階床		床の仕上げ	☐ ①板張り ☐ ②畳敷き ☐ ③その他の場合()
		捨て張り	☐ ①なし ☐ ②石膏ボード12.5mmまたは合板12mm以下 ☐ ③遮音マット8mm ☐ ④その他の場合()
		床板	☐ ①床合板28mm ☐ ②在来床(根太、床板)

○ 上記の荷重表以外に特殊荷重はありますか？

☐Yes☐No

YESの場合は、その荷重名と重量および荷重のかかる位置を記入してください。

(例＞ ピアノ・書斎・ウォーターベッド・屋上緑化・特殊な設備・その他)

荷重名・重量 ()

荷重名・重量 ()

※荷重の位置、範囲を各階伏図中にご記入下さい。

○ その他注意事項・要望があればご記入ください。

SE構法 構造計算依頼シート【地盤・基礎関係】

(3/3)

地盤＞

Ver.2/13.10

- | | |
|--|---|
| 1. 直接基礎とする場合、地盤の地耐力は次のどれですか？
地盤調査の結果により、地耐力をご判断下さい。
構造計算により、接地圧を確認します。 建物が重い場合地盤改良等が必要となります。 | ☐ 20kN/㎡ (1・2階建のみ)
☐ 30kN/㎡ ☐ 50kN/㎡
その他 ()kN/㎡ |
| 2. 地盤調査は行いましたか？ | ☐ YES ☐ NO |
| 3. 地盤調査会社は、次のうちどれですか？
注) 右記に示す3社以外による場合は、登録施工店様にて建築基準法施行規則に従った「基礎・地盤説明書」を作成し、構造計算書に添付する必要があります。 | ☐ ジオテック(株)
☐ 報国エンジニアリング(株)
☐ 株トラバース
☐ その他() |
| 4. 地盤改良を行いますか？
行う場合は、地盤改良メーカー・工法名を記入して下さい。 | ☐ YES ☐ NO ☐ 未定
メーカー ()
工法名 () |

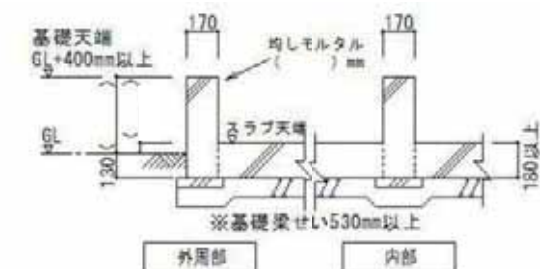
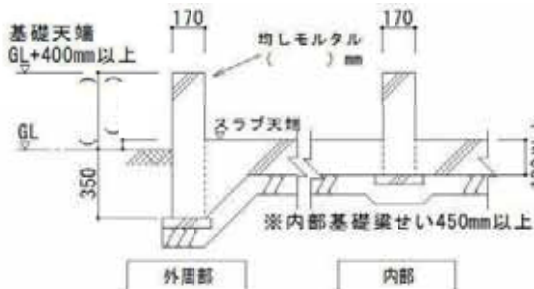
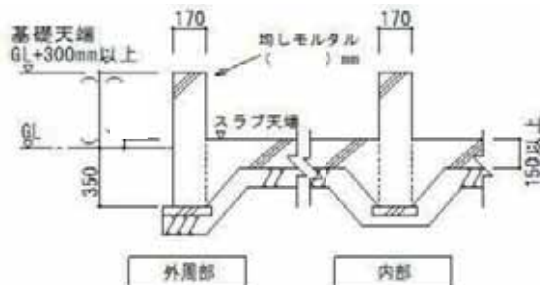
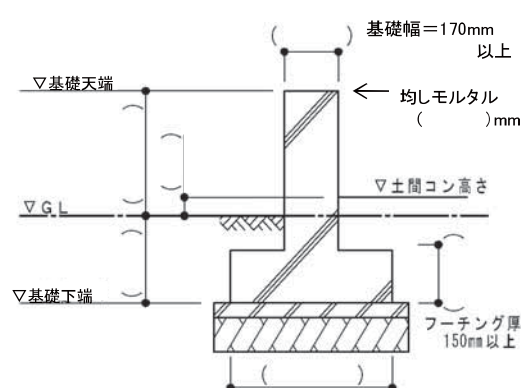
地盤調査済の場合は、基礎計算での参考資料となりますので、必ずNCNまで送付してください。
地盤改良が必要な場合は、改良計画書も併せて、必ずNCNまで送付してください。

基礎計算＞

- | | |
|---|--|
| 1. 基礎の形式は次のどれですか？ | ☐ ベタ基礎 ☐ 布基礎 |
| 2. 人通口を設けますか？ ※YESの場合、土台伏図に位置をご指示ください。 | ☐ YES ☐ NO |
| 3. 床下換気はどちらですか？ | ☐ 基礎パッキン ☐ 床下換気口 |
| 4. 高基礎・深基礎となる部分がありますか？ ※YESの場合、土台伏図に位置をご指示ください。 | ☐ YES ☐ NO |
| 5. スラブの高さが基準の部分と異なる箇所はありますか？ | ☐ YES ☐ NO |
- 車庫 (設計GL) mm EVビット (設計GL) mm その他 (: 設計GL) mm

▼いずれかの仕様を選択し、()内寸法をご記入ください

全フラット仕様、内部フラット仕様は、地盤調査が実施済であることが条件となりますので、ご注意ください。
フラット仕様の場合は、基礎高さ400mm以上を標準とします。それ以外の場合は、スラブを厚くするなどの調整が必要となります。
地盤調査が未実施の状態では基礎計算を進める場合は、ハンチ仕様となりますので、あらかじめご了承ください。

☐ ベタ基礎 全フラット仕様(2階建て以下のみで適用可)☐ ベタ基礎 内部フラット仕様(3階建て以下、軒高さ9m以下で適用可)☐ ベタ基礎 ハンチ仕様(全物件で適用可)☐ 布基礎

基礎形状は、敷地状況、凍結深度、建築計画
(ガレージ、ポーチなど)、構造計算によって変
更される場合がございます。

予定についてご記入ください＞

確認申請提出 月 日 頃

プレカット部材納入希望 月 日 頃

※ 計算作業は構造計算発注後1週間必要です。(基礎計算を含む場合10日間)

※ プレカット標準納期はプレカット発注後3週間必要です。

その他注意事項・要望があればご記入ください＞